

主な記事

2～3面 令和3年9月定例会の概要

4面 議会活動の紹介

県議会からのお知らせ

わかやま 県議会だより

WAKAYAMA PREFECTURAL ASSEMBLY

クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で「図書カード」を
10名様にプレゼント!!

〇〇〇の産地である下津と有田の両地域
では、〇〇〇システムの世界農業遺産認定
申請に向けた取組が進められています。

Q:「〇〇〇」に入る文字は何でしょう。
(〇〇〇には同じ文字が入ります。)

ヒント:2～3面を読んでね。

応募方法:4面をご覧ください。

～和歌山県誕生150年～

和歌山県議会の歴史を振り返る

現在の県議会に相当する県会は、明治12年(1879年)5月5日に第1回の会議を開き、今年で142年を迎えました。
県誕生150年を機に、県議会の歴史を振り返ります。

旧和歌山県会議事堂内展示室
岩出市根来の旧和歌山県議事
堂内の展示室では、歴代議長の
写真や県議会に係る年表、関連
資料などを展示しています。



旧和歌山県会議事堂での定例会開催(平成28年)
明治時代からの輝かしい歴史と伝統ある和歌山県議会
を築いてこられました諸先輩の御努力に敬意を表し、
旧和歌山県会議事堂で本会議を開催しました。



第19期和歌山県議会議員
平成31年4月7日に執行された和歌山県議会議員
一般選挙において、42人が当選しました。

初代議長濱口梧陵像と旧
和歌山県会議事堂
大正9年、濱口梧陵の功績を
称え、像が建立されました。
後方の建物は当時の和歌山
県会議事堂です。



濱口梧陵
和歌山県初代議長。
避難の道しるべとして自家の稲む
らに火を放ち、安政南海地震の大
津波から多くの村人を救った「稲
むらの火」の物語で知られている。



和歌山県議会
開会300回記念式典
平成22年12月定例会で
300回の節目を迎え、記
念式典を開催しました。
(第1回:昭和22年5月臨時会)

3 令和 2021	31 年 (令和元年) 2019	28 年 2016	27 年 2015	23 年 2011	22 年 2010	16 年 2004	11 年 1999	6 平成 1994	56 年 1981	54 年 1979	49 年 1974	46 年 1971	43 年 1968	37 年 1962	34 年 1959	28 年 1953	22 年 1947	16 年 1941	13 昭和 1938	9 大正 1920	44 年 1911	31 年 1898	23 年 1890	12 年 1879	4 明治 1871	
初的女性議長誕生 【和歌山県議会の構成(令和3年11月現在)】 ・議会運営委員会 ・常任委員会(6) ・特別委員会(7)	第19期県議会議員任期開始	旧県会議事堂復元整備完成 旧県会議事堂にて本会議開催	「みなべ・田辺の梅システム」 世界農業遺産認定	紀伊半島大水害	開会300回記念式典	「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録	南紀熊野体験博	世界リゾート博	本会議をテレビ・ラジオで中継開始	県議会開設100年記念式典	阪和自動車道開通(阪南IC、海南IC)	黒潮国体	南紀白浜空港開港	旧県会議事堂岩出町根来へ移設	国鉄紀勢線の全線開通	紀州大水害(28水害)	地方自治法施行後初の県議会開催	旧県会議事堂和歌山市美園町へ移設	現議場を含む新県庁舎完成	濱口梧陵像建立	旧県会議事堂にて夏目漱石の和歌山講演	旧県会議事堂完成	エルトゥールル号遭難	初代議長に濱口梧陵就任	第1回県会開会	和歌山県誕生(11月22日)



紀伊山地の霊場と参詣道



和歌山県選手団の入場行進



特急「くろしお」号(昭和40年新設)



初代の和歌山県庁(明治9年竣工)

(写真は昭和47年に登場した車両)

(和歌山市立博物館所蔵)

9月定例会の概要

会期 9月8日～9月28日の21日間

会期中の主な動き

●特別委員会の開催

(人権・少子高齢化問題等対策特別委員会)：9月15日

(半島振興・地方創生対策特別委員会)：9月16日

(防災・国土強靱化対策特別委員会)：9月21日

●特別委員会の設置

(決算特別委員会を設置し、委員を選任)：9月28日

(IR対策特別委員会を設置し、委員を選任)：9月28日

議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	2件	令和3年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(〃)	3件	和歌山県個人情報保護条例の一部を改正する条例等	可決
決算案件(〃)	2件	令和2年度和歌山県歳入歳出決算の認定について等	継続審査
人事案件(〃)	3件	和歌山県公安委員会の委員の任命につき同意を求めるについて等	同意
その他案件(〃)	6件	令和3年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等 出産育児一時金の増額を求める意見書	可決
意見書	3件	北朝鮮の弾道ミサイル発射に対し厳重な抗議を求める意見書 選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書	可決 否決

質問議員 17人

9月15日(水)	9月16日(木)
堀 龍雄 多田 純一 浦口 高典 中本 浩精 楠本 文郎	坂本 登 岩田 弘彦 鈴木 徳久 佐藤 武治
9月17日(金)	9月21日(火)
秋月 史成 杉山 俊雄 藤本 眞利子 濱口 太史	長坂 隆司 中西 峰雄 吉井 和視 尾崎 要二

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

土砂災害対策

問 土砂災害のおそれがある箇所では、調査や対策が必要であると考えますが、知事の所見を伺う。

答 土砂災害対策は、防災拠点や避難所など、施設の重要度や現地の状況等を踏まえて、砂防堰堤や擁壁等の整備に取り組んでいます。

また、がけ崩れ対策では、人命を最優先に考えて、前兆現象が見られる場合に、必要な対策ができるよう制度改正を行いました。

本年4月には、県内全域で土砂災害警戒区域の指定を完了し、土砂災害警戒判定メッシュ情報の公開や土砂災害警報時のプッシュ型メール配信など、県民へ情報提供できる仕組みを導入しており、引き続き、土砂災害に対する安全性を高めていきます。

若者総合対策

問 県政の重要課題の一つである青少年問題や若者問題について、どう考えるか。

答 全ての子供・若者が立派に成長し、個性と能力を發揮して、それぞれの道で活躍してもらうように成長するというのが、地域の力となり、目標であると考えており、学校教育を充実させる必要があることから、様々な政策を加えました。

子供・若者が、それぞれの困難や悩みを解消できるように、教育や福祉、雇用など、あらゆる分野において、努力していきます。

新産業の創出

問 健康・医療産業創出のため、産業界のシーズと健康・医療・福祉分野のニーズのマッチングを一層推進すべきではないか。

答 和歌山県産業技術基本計画において、重点的に推進すべき戦略的分野の中に、医療・福祉分野、バイオ・食品分野を位置づけ、医療機器や機能性食品等の研究開発等を支援しています。

ヘルスケア産業の創出及び振興を図るため設立されたわかやまヘルスケア産業革新プラットフォームは、新たな会員が加わり、114の皆様に参画いただいています。

シーズとニーズのマッチングをより一層推進し、さらなるヘルスケア産業の発展へとつなげていきます。

わかやまヘルスケア産業革新プラットフォーム：ヘルスケアに関連する産業の創出及び振興のため設立された協議会のこと。(事業者、医療・介護関係者、大学、金融機関、行政で構成)

コロナ禍における観光産業の支援策

問 地域観光事業支援を活用し、今議会でもわかやまリフレッシュプランに係る予算を計上してはどうか。

答 新型コロナウイルスの感染状況は予想がつかないものの、予算を計上しておくことで、感染が落ち着いた場合には早々に事業を開始できること、また、観光事業者への支援のメッセージになる御意見をいただき、大変勇気づけられたところです。御提案により、今議会にリフレッシュプランに係る予算案を追加提案いたします。

椿山ダムの放流操作

問 本年8月中旬の長雨における椿山ダムの放流についてどのように操作したのか。

答 椿山ダムの操作規則にのっとり、流入量が毎秒600mに達した8月13日20時より、当該流入量を下回った8月15日17時40分までの約46時間にわたり、洪水調節を実施しました。水位調整に当たっては、利水者である関西電力(株)と調整の上、夏期制限水位よりも低い貯水位を目標に放流し、洪水に備えました。その結果、下流への影響を最小限に食い止めたものと考えます。

南紀・はまゆう統合支援学校(仮称)

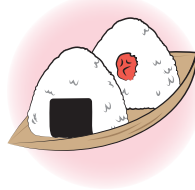
問 南紀・はまゆう統合支援学校(仮称)の屋外運動場を、生徒がより安全・安心に運用できる統合校舎の隣接地に将来設置する可能性はあるのか。

答 関係機関の協力のもと、将来は統合校舎の隣接地に屋外運動場設置が実現可能となることを目指し、継続した協議を進めていきます。

ブランド米の開発

問 日高地域で南高梅によく合うおにぎり専用の米を開発してはどうか。

答 県では、国等で開発された耐暑性や食味に優れた品種の現地栽培試験を行い、本県に合った有望な品種を絞り込んでいるところです。これらの品種から、南高梅を具材としたおにぎりに相性のよいものを選抜し、南高梅のおにぎりに適した新品種として、J・A等と連携して広くPRするとともに、試作または本格的な栽培をしていたり、農家を募集し、普及を図ること、日高地域に新たな品種の米産地をつくらせていく所存です。



ICT機器の利用

問 タブレット端末等の長時間利用は、健康面に影響を及ぼすことが指摘されている。適切な利用を促す指導が必要であると考えるが、ごつか。

答 タブレット端末等のICT機器は利便性の高いツールであり、今後の活用は必須です。各学校においては、児童生徒や保護者に対し、目の健康を守るための方法等について指導及び啓発を行っています。また、県教育委員会でも、専門家等と連携を図り、家庭におけるルールづくりのリーフレット等を作成し、授業での活用を促しています。

IR誘致

問 IR誘致の今後の見通しと、推進する上でどういった思いで取り組むのかについて、知事の所見を伺う。

答 IRができると、雇用効果・所得効果があり、県の持続的な発展につながります。一方で県民の皆様が懸念されるギャンブル依存症はこういう形で防ぐことができるという見通しがあるため、頑張つて進めています。今後は、事業者と交渉をしながら、区域整備計画をレベルの高いものに仕上げ、議会や県民の皆様へ説明をしながら、国の認定が受けられるよう全力を挙げて取り組んでいきます。

地場産農産物の利用促進

問 地産地消を進めるとともに、子供たちの食の安全を守るため、学校給食への有機農産物の利用を促進すべきではないか。

答 学校給食への地場産農産物の利用は、価格や供給量が折り合わず伸び悩んでいます。そのため県では、学校給食と農業の関係者間で協議会設立を推進しており、現在、7市町で設立されています。引き続き、各地域に協議会の設置を広げ、地場産農産物が学校給食で利用される仕組みを構築し、有機農業の振興を図ること、有機農産物を含めた地場産農産物の利用拡大を目指していきます。

世界農業遺産の認定

問 みかんの産地である下津と有田の両地域のみかんシステム(それぞれの地域における持続的農業システム)が一体となった世界農業遺産認定申請に向けた取組について伺う。

答 下津、有田両地域のみかんシステムが一体となった申請は、世界農業遺産の認定取得に極めて有効と考え、現在、両地域の推進協議会及び関係者と協力し、融合したシステムの作成に取り組んでいるところです。今後は、みかんシステムの融合案を両地域の推進協議会にお諮りし、次期世界農業遺産への認定申請に向け、来年度、国の承認が得られるよう全力で取り組んでいきます。



国道371号紀見トンネル

問 新紀見トンネル(仮称)も貫通し、371号バイパスの開通も見えてきた。紀見トンネルの天井板の撤去を前提とするリニューアルについてはどうするのか。

答 今般、新紀見トンネル(仮称)の開通の見通しが見え始めたことから、今年度当初より大阪府との協議を再開したところです。つきましては、今年度実施中の2回目の法定点検の結果等も踏まえ、天井板の撤去や照明のLED化など抜本的な維持修繕について、大阪府の協力も得ながら、取り組んでいきます。

歴史的遺産の保存や維持に向けて

問 戦争の悲惨な記憶が風化しないよう、「特攻艦『震洋』の基地跡」といった県内の歴史的遺産の保存や維持をどうしていくのか。

答 県は幕末から第2次世界大戦終戦頃までのいわゆる近代の文化遺産について調査を進めており、市町村からは『震洋』の基地跡を含む2500件余りの事案が報告されています。歴史的遺産を後世へ伝えていくには、市町村が地域住民と連携し、一体となって保存と活用に取り組むことが重要です。県では、このような取組を支援していきます。

国民健康保険と保険料水準の統一

問 国民健康保険について、受益と負担をどう考えて、統一保険料(税)を目指すのか。

答 本県では、平成30年度から10年間で保険料水準の統一を目指していますが、様々な課題があります。その中でも、

医療費水準の格差の是正は難しい課題ですが、県民の理解を得るためにも是正に向けた取組を進める必要があると考えます。負担と給付の公平性の観点から、同じ条件であれば同じ保険料水準となることが望ましいと考えており、そのためにも、市町村と協議を重ねながら、医療費水準の格差の是正に向けた取組を進め、保険料水準の統一を目指していきます。

地場産業の海外進出支援

問 繊維産業をはじめとする地場産業について、海外取引のスキル等を学ぶ勉強会を後押ししてはどうか。

答 県庁内に開設されたジェトロ和歌山貿易情報センターと連携し、海外市場調査や販売戦略の策定支援等を行うとともに、海外展示場への出展支援など県内中小企業の海外展開を支援しています。今般もジェトロ等との連携により、オンライン併用セミナーをはじめ、必要な情報・知識が入手可能な環境整備を一層進めるとともに、各種支援メニューの活用をさらに促していきます。

介護支援専門員(ケアマネジャー)

問 介護支援専門員の不足を感じている事業者の割合はどうか。また、介護支援専門員

の資格取得に向けた支援や更新研修受講に係る負担軽減に向け、どう取り組んでいるのか。

答 介護支援専門員の不足を感じている事業者の割合は、令和2年度の調査で、県全体で約3割となっています。県では、介護職員のキャリアアップ支援として、介護支援専門員資格取得のための講座を実施しています。また、介護支援専門員の更新研修については、研修実施機関である和歌山県介護支援専門員協会と協議の上、これまでの複数コースの設定などに加え、今年度からオンラインでの受講も可能とするなど、受講者のより一層の負担軽減に取り組んでいます。

熊野川の洪水対策

問 各地に大きな衝撃と多くの傷跡を残した紀伊半島大水害から10年が経過した。当時の災害を踏まえ、二度とこのような犠牲を出さないため、熊野川の洪水対策に向けた知事の決意を伺う。

答 熊野川の抜本的対策に必要不可欠である河川整備基本方針の見直し、先般、国で始まり、河川整備基本方針が策定され、そして河川整備計画が策定されることで、実際の施工につながるため、整備の早期完成を望んでいます。県としても、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等必要な予算の確保に努め、災害に対して強靱な施設整備等を行い、引き続き、県民の「いのち」と「くらし」を守っていきます。

Information

県議会からのお知らせ

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っていますので、ご理解・ご協力をお願いします。

テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

テレビ テレビ和歌山(WTV)

県議会だより(予定)

開会日、質問日、閉会日の22時から25分間放送
(12月定例会の放送 11/29、12/8~10、13、17)

県議会手話だより(予定)

閉会日の約1週間後に、22時から30分間放送
(12月定例会の放送 12/27)

ラジオ 和歌山放送(WBS)

県議会ダイジェスト(予定)

開会日、質問日、閉会日の21時30分から15~30分間放送
(12月定例会の放送 11/29、12/8~10、13、17)

県議会ホームページ

● 県議会の仕組みや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。

● 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。



<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/cms/www/index.html>

和歌山県議会

傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

令和3年12月定例会 会期日程(予定)

本会議	11月29日(月)・30日(火)
本会議(質問)	12月8日(水)~10日(金)・13日(月)
常任委員会	12月14日(火)・15日(水)
本会議	12月16日(木)・17日(金)

※この日程は予定ですので変更されることがあります。
※要約筆記をご希望の方は、事前に県議会事務局までお申し込みください。ただし、申込日によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

「点字版、CD版」の案内

本紙の点字版、CD版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

クイズ&プレゼント

応募方法

ハガキへ、(1)クイズの答え「〇〇〇」、(2)〒住所、(3)氏名、(4)年齢、(5)電話番号、(6)「わかやま県議会だより」のご感想を記入の上、**12月3日(金) <消印有効>**までにご応募ください。

応募先

〒640-8585(住所不要)
県議会事務局「クイズ&プレゼント係」

※当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。
※皆様の個人情報は、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。

議会活動の紹介

IR対策特別委員会を設置

9月28日の本会議において、IRに関する施策について調査審議するため、16人の委員で構成されるIR対策特別委員会の設置を決定し、委員の選任を行いました。

本会議閉会後には同委員会を開催し、正副委員長の互選を行いました。

また、10月8日には同委員会を開催し、IRの現状について説明を受けた後、質疑を行いました。

今回は、11月19日に開催する予定です。

IR対策特別委員会(定数16人)

- | | |
|---------|-------|
| ◎ 藤山 将材 | 佐藤 武治 |
| ○ 多田 純一 | 山下 直也 |
| 井出 益弘 | 山田 正彦 |
| 玄素 彰人 | 浦口 高典 |
| 秋月 史成 | 片桐 章浩 |
| 富安 民浩 | 楠本 文郎 |
| 玉木 久登 | 高田 由一 |
| 吉井 和視 | 中 拓哉 |

◎ 委員長 ○ 副委員長

県内のアスリートが議長を表敬訪問

8月24日に東京2020オリンピックスケートボード女子パーク競技の金メダリスト四十住さくら選手が、9月6日には第103回全国高等学校野球選手権大会で優勝した智辯学園和歌山高等学校野球部の皆さんが、金メダル獲得と優勝の報告のため、県議会を訪問されました。県民に大きな感動と元気を与えてくれたアスリートたちに、森礼子議長は、同席の尾崎要二議員、川畑哲哉議員とともに、激闘へのねぎらいと激励の言葉を贈りました。



紀伊半島三県議会交流会議

和歌山・三重・奈良の3県の県議会議員が共通の課題等について意見交換を行う「第15回紀伊半島三県議会交流会議」が、7月21日に三重県多気郡大台町で開催され、本県からは森礼子議長、鈴木太雄副議長をはじめ7人の議員が参加しました。

会議では、「ワーケーションの推進」、「紀伊半島アンカールートの整備促進による国土強靱化及び地方創生の推進」及び「公共事業における木材の活用」の3議題について、各県から議題の提案趣旨説明や取組事例等の紹介が行われた後、3県の議員21人により議論が交わされ、ワーケーションの普及・定着に向けた受入環境の整備に要する補助金等の支援制度の拡充について、紀伊半島アンカールートの早期整備について、国産木材の需要拡大・安定供給や林業を担う人材の育成について、それぞれ国に対して要望していくことが合意されました。



関西広域連合議会 8月定例会

8月26日、関西広域連合議会8月定例会が京都市本会議場で開催され、一般質問に杉山俊雄議員が登壇し、関西広域連合でのプラスチックごみ問題に係る対策の状況や、その問題解決に向け、使い捨てプラスチック製品の使用や製造を削減することの重要性などについて質問しました。

これに対し、関西広域連合プラスチック対策検討会を担当する海老原副委員長(大阪府副知事)からは、2019年に出した「関西プラスチックごみゼロ宣言」を契機として、住民や事業者における3Rの一層の推進に取り組んできたことなどが説明されました。さらに、江島宏治副委員(滋賀県副知事)からは、マイボトルの利用促進や使い捨てプラスチックに頼らないライフスタイルへの転換により、使用削減とごみの発生抑制を促していくことが必要との考えとともに、今後も国の動向を踏まえながら、消費者への啓発や事業者の取組を後押しする施策を検討していきたいとの答弁がありました。



杉山 俊雄 議員